

## 2026年度数学講究XB(数理科学概説)日程一覧

※教室は大講義室です。(6/16,6/30は056講義室, 6/17,7/1は002講義室)  
 時間はa(14:55~15:50),b(15:50~16:45)の各55分間で別の教員の講義があり、それぞれの講義時間で出席をとりますので、全講義出席するようお願い致します。  
赤字: 変更箇所

月	日	曜日	時間帯	教員名	講義室	講義のタイトル
5	12	火	a(14:55~15:50)	小林 俊行	大講義室	リー群と表現論
5	12	火	b(15:50~16:45)	伊藤 由佳理	大講義室	特異点のはなし
5	13	水	a(14:55~15:50)	伊山 修	大講義室	Cohen-Macaulay表現論
5	13	水	b(15:50~16:45)	阿部 紀行	大講義室	対称群の表現論
5	19	火	a(14:55~15:50)	中島 啓	大講義室	フィールズ賞の歴史と現在
5	19	火	b(15:50~16:45)	三枝 洋一	大講義室	非可換幾何論入門
5	20	水	a(14:55~15:50)	坂井 秀隆	大講義室	線型 q 差分方程式のはなし
5	20	水	b(15:50~16:45)	逆井 卓也	大講義室	コホモロジー環の分類空間について
5	26	火	a(14:55~15:50)			
5	26	火	b(15:50~16:45)	ベズ ニール	大講義室	高次元現象
5	27	水	a(14:55~15:50)	足助 太郎	大講義室	葉層構造の変形族の特性類について
5	27	水	b(15:50~16:45)	加藤 晃史	大講義室	場の量子論入門
6	2	火	a(14:55~15:50)	増田 弘毅	大講義室	非正規ランダムダイナミクスの統計数理
6	2	火	b(15:50~16:45)			
6	9	火	a(14:55~15:50)	高津 飛鳥	大講義室	等周不等式
6	9	火	b(15:50~16:45)	本多 正平	大講義室	距離空間上の幾何解析
6	10	水	a(14:55~15:50)	ミラノフ トドール	大講義室	Gromov-Witten theory
6	10	水	b(15:50~16:45)	大島 芳樹	大講義室	リー群の作用と表現
6	16	火	a(14:55~15:50)	齋藤 毅	056講義室	数論幾何と代数解析
6	16	火	b(15:50~16:45)	毛塚 由佳子	056講義室	楕円曲線の岩澤理論
6	17	水	a(14:55~15:50)	河東 泰之	002講義室	作用素環と数理物理学
6	17	水	b(15:50~16:45)	ウィロックス ラルフ	002講義室	離散可積分系の非自励化
6	23	火	a(14:55~15:50)	白石 潤一	大講義室	位相的頂点作用素とMacdonald多項式
6	23	火	b(15:50~16:45)	会田 茂樹	大講義室	ラフパスと確率微分方程式
6	24	水	a(14:55~15:50)	植田 一石	大講義室	特異点
6	24	水	b(15:50~16:45)	葉廣 和夫	大講義室	絡み目と3次元多様体の量子不変量について
6	30	火	a(14:55~15:50)	戸田 幸伸	056講義室	幾何的ラングランズ対応の古典極限とDonaldson-Thomas理論
6	30	火	b(15:50~16:45)	河上 龍郎	056講義室	正標数の特異点と微分形式
7	1	水	a(14:55~15:50)	池 祐一	002講義室	微分方程式とD加群
7	1	水	b(15:50~16:45)			
7	7	火	a(14:55~15:50)	松井 宏樹	大講義室	作用素環論入門
7	7	火	b(15:50~16:45)	今井 直毅	大講義室	局所 Langlands 対応とその幾何化
7	8	水	a(14:55~15:50)	岩木 耕平	大講義室	パウルヴェ方程式と数理物理
7	8	水	b(15:50~16:45)	小池 祐太	大講義室	ブートストラップ法の数理統計学
7	14	火	a(14:55~15:50)	宮本 安人	大講義室	微分方程式の定性的理論
7	14	火	b(15:50~16:45)	佐々田 禎子	大講義室	相互作用粒子系と微分方程式をつなぐスケール極限
7	15	水	a(14:55~15:50)	今野 北斗	大講義室	ゲージ理論と4次元トポロジー
7	15	水	b(15:50~16:45)	関口 英子	大講義室	リー群と表現論
7	16	木	10:25~11:20	権業 善範	大講義室	射影空間とその仲間たち
7	16	木				

(注意事項)

数学講究XBは全講義の出席を原則とします。

やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に数理科学教務チームへ理由等をメールで連絡してください。

[メール宛先: 数理科学教務チーム\(skyoumu.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp\)](mailto:skyoumu.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

以下の場合は事前に連絡すれば公休の扱いになります。

- ・教育実習のため
- ・介護等体験のため
- ・理学部合同で東大数理で行われる集中講義に履修届を出している場合

それ以外に集中講義や講演などへの参加で公休を希望する場合は、事前に連絡し、その上で次の (a) と (b) を提出してください。

(a) 数学講究XBの代わりに出席したことを証明する書類

(例: 当日の講義講演等の自筆ノートのコピー、

参加したイベントの当日の出席を証明する証明書, 写真など)

(b) 参加したイベントと数学・数理科学との関係を説明する文書